



ID: 1346

科目名	卒業研究指導※(前半)【26年度生用】			コード			
英語表記	Graduation Thesis						
担当教員名	建築システム専攻専任教員			年度	平成26年度		
基準年次	4年次	開講期	通年		単位数		
授業形態	演習	授業形式	面前		履修形態		
卒業論文は4年間の専門領域の学習の総仕上げの必修科目で、論文と設計に分かれている。いずれを選択する場合も、自分の責任と意志により完成させることが求められる。担当教員は、学生を積極的に受け入れ系統的な研究指導を行い、3年次の前期に説明会や募集が行われる。学生は全員が担当者教員の研究室に所属し、論文あるいは設計を行う。							
到達目標							
随時各担当教員から問題解決に向けての指導や助言を受け、また中間発表会において全教員から指摘を受け、最終の試問会を合格しなければならない。							
授業計画							
第1回	卒業研究ガイダンスにより研究テーマと指導教員の選考する						
第2回	年間のタイムスケジュールの概要を計画する						
第3回	関係する既往の論文・作品・設計に関する情報をインターネットから収集する						
第4回	収集した情報を分析し、まとめる						
第5回	関連する参考文献を収集する						
第6回	参考文献を熟読し、問題意識に沿ってまとめる						
第7回	収集した情報を整理するし、問題意識を明確にする						
第8回	関連資料から選択したテーマの意義と目標を設定する						
第9回	選定課題の目標を明確にする						
第10回	「第一回発表会」用の原稿を作成する						
第11回	研究の進展状態を「第一回発表会」で発表し、疑問意見を受け、参考にする						
第12回	意見・批判・疑問に対応する検討を行い再考する						
第13回	研究課題と全体構成を決定し、研究計画の見直しを行う						
第14回	見直した研究計画による調査の準備を行う						
第15回	事前の調整を行った上で、具体的な調査を進める						
評価方法と基準			評価項目と割合(%)				
以下の各点に関して指導教員を中心とした学科全教員が評価採点する。1.最終完成品である研究論文あるいは設計作品、および研究概要書 2.中間発表会と最終試問会の発表内容、および質疑応答 3.日頃の研究態度(実験、調査、資料収集、ゼミ発言、その他)とそれを実証できる記録			出席	授業態度	レポート	期末試験	その他
			20	20	20	40	
授業外学習			テキスト、教材				
			担当教員の指導による。				
参考書			受講生へのメッセージ				
各研究室による課題に関して指導する。			1, 2年次の基礎ゼミⅠ、Ⅱ、ⅢおよびⅣと情報処理演習Ⅰ、Ⅱは、卒業論文の研究進行上の基礎的素養と研究手段・研究方法の基本的な役割を演じるのでその学習態度や修得の達成度が研究の進捗に重要であるので十分に留意すること。(1)各研究室でのゼミ・実験・演習等については担当教員の指示によること。(2)中間発表と最終試問会の発表を必ず行う。(3)設計・制作を選択するには、建築設計Ⅰ、建築設計Ⅱ、建築設計CAD、建築設計Ⅲ、建築設計Ⅳを履修しておくことが必須である。				
キーワード							
卒業論文・専門演習・専門論文・学位論文・卒業制作							